

○関東・中部地方の地震活動

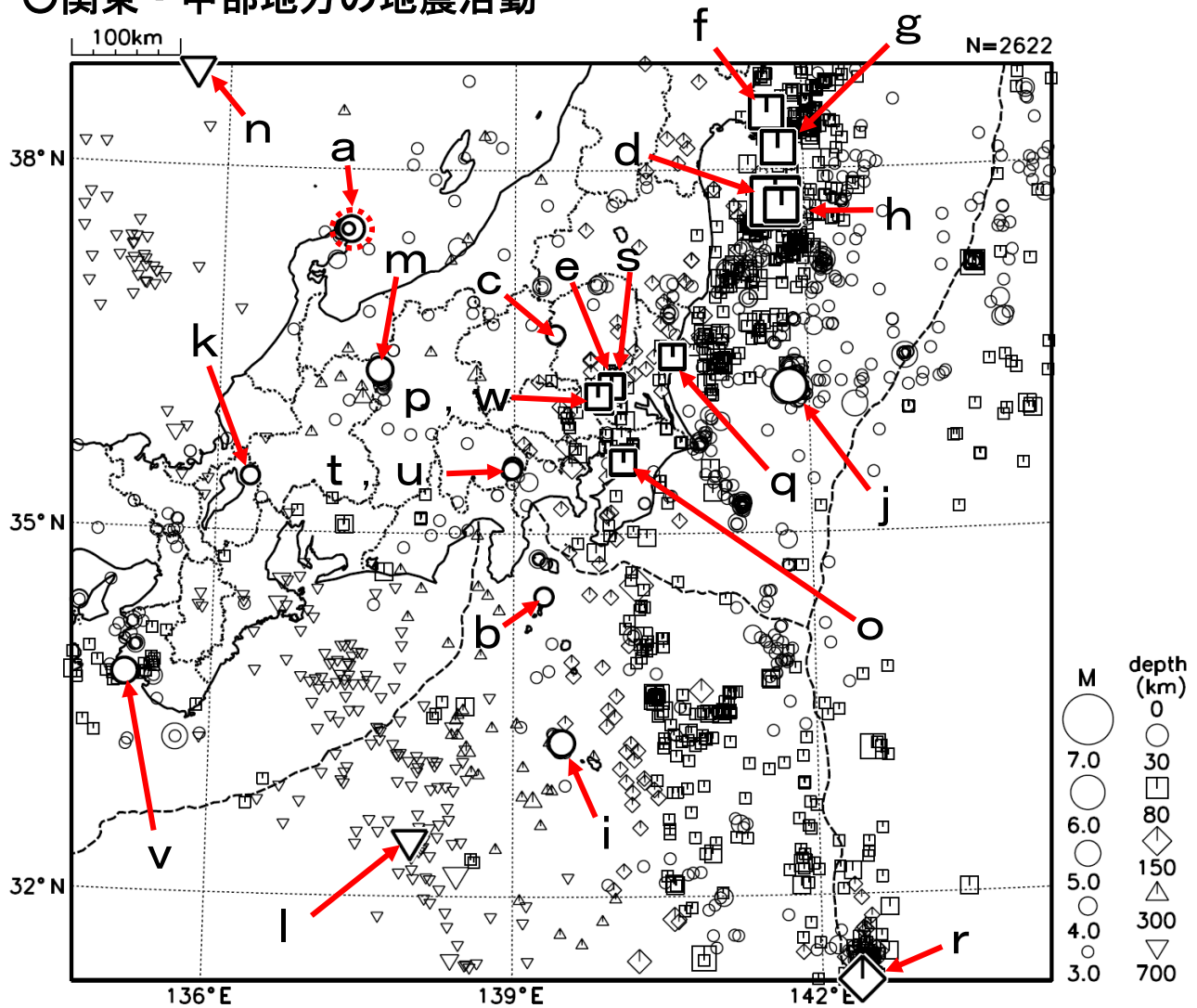


図7 関東・中部地方の震央分布図（2021年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

[概況]

2021年に関東・中部地方で震度4以上を観測した地震は19回（2020年は29回）であった。2021年中の主な地震活動は次のとおりである。

石川県能登地方（図7中の領域a）の地殻内では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になっている。2021年中に震度1以上を観測した地震が70回（震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：10回、震度2：19回、震度1：39回）発生した。このうち震度4以上を観測した地震は、7月11日09時16分に深さ13kmで発生したM3.9の地震（石川県珠洲市で震度4を観測したほか、富山県及び石川県で震度3～1を観測）及び9月16日に深さ13kmで発生したM5.1の地震（石川県珠洲市で震度5弱を観測したほか、東北地方南部から中部地方にかけて震度4～1を観測）であった。

1月1日01時53分に新島・神津島近海の深さ12kmでM4.7の地震（図7中のb）が発生し、東京都利島村で震度4を観測したほか、関東地方南部、伊豆諸島及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。

2月2日03時01分に栃木県北部の深さ7kmでM4.0の地震（図7中のc）が発生し、栃木県日光市で震度4を観測したほか、関東地方及び福島県で震度3～1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

2月13日23時07分に福島県沖の深さ55kmでM7.3の地震（図7中のd）が発生し、宮城県と福島県で震度6強を観測したほか、北海道から中国地方にかけて震度6弱～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震により、宮城県の石巻港で22cmの津波を観測したほか、宮城県と福島県で津波を観測した。この地震により、死者2人、負傷者186人、住家全壊123棟、半壊1,937棟、一部破損34,239棟などの被害が生じた（2021年11月26日現在、総務省消防庁による）。

3月16日04時56分に茨城県南部の深さ54kmでM4.9の地震（図7中のe）が発生し、茨城県土浦市で震度4を観測したほか、関東地方を中心に宮城県から静岡県にかけて震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

3月20日18時09分に宮城県沖の深さ59kmでM6.9の地震（図7中のf）が発生し、宮城県で震度5強を観測したほか、東北地方を中心に北海道から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、負傷者11人、住家一部破損20棟などの被害が生じた（2021年11月26日現在、総務省消防庁による）。

5月1日10時27分に宮城県沖の深さ51kmでM6.8の地震（図7中のg）が発生し、宮城県石巻市、大崎市、涌谷町で震度5強を観測したほか、東北地方を中心に北海道から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により負傷者4人などの被害が生じた（2021年5月10日現在、総務省消防庁による）。

5月14日08時58分に福島県沖の深さ46kmでM6.3の地震（図7中のh）が発生し、福島県、宮城県、岩手県で震度4を観測したほか、東北地方を中心に北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

7月16日13時19分に八丈島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.4の地震（図7中のi）が発生し、東京都八丈町で震度4を観測したほか、伊豆諸島及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。

8月4日05時33分に茨城県沖の深さ18kmでM6.0の地震（図7中のj）が発生し、宮城県、福島県、茨城県及び栃木県で震度3を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震央付近では、8月3日から4日までに震度1以上を観測する地震が14回（震度3：1回、震度2：4回、震度1：9回）発生した。

8月16日05時03分に滋賀県北部の深さ13kmでM4.6の地震（図7中のk）が発生し、岐阜県揖斐川町で震度4を観測したほか、中部地方から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

9月14日07時46分に東海道南方沖の深さ385kmでM6.0の地震（図7中のl）が発生し、茨城県、栃木県及び東京都で震度3を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部の深いところで発生した。

9月19日17時18分に岐阜県飛騨地方（図7中のm）のごく浅いところでM5.3の地震が発生し、岐阜県高山市で震度4を観測したほか、関東地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震の近傍では、この地震の発生以降地震活動が活発となり、9月30日までに震度1以上を観測した地震がこの地震を含め32回（震度4：1回、震度3：2回、震度2：8回、震度1：21回）発生した。これらの地震は、地殻内で発生した。

9月29日17時37分に日本海中部の深さ394kmでM6.1の地震（図7中のn）が発生し、北海道、青森県、岩手県、福島県、茨城県及び埼玉県で震度3を観測したほか、北海道から東北地方の主に太平洋側及び関東甲信越地方、石川県、静岡県で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

10月7日22時41分に千葉県北西部の深さ75kmでM5.9の地震（図7中のo）が発生し、埼玉県川口市、宮代町及び東京都足立区で震度5強を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した。この地震は、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。この地震により、重傷者6人、軽傷者43人などの被害が生じた（2021年11月26日現在、総務省消防庁による）。

10月28日09時55分に茨城県南部の深さ45kmでM4.5の地震（図7中のp）が発生し、茨城県坂東市で震度4を観測したほか、関東地方、福島県、山梨県及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

11月1日06時14分に茨城県北部の深さ57kmでM5.3の地震（図7中のq）が発生し、福島県、茨城県及び栃木県で震度4を観測したほか、東北地方から東海地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

11月29日21時40分に鳥島近海の深さ12km（CMT解による）でM6.4の地震（図7中のr）が発生し、東北地方、関東甲信越地方、静岡県、伊豆諸島及び小笠原で、震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

12月2日01時58分に茨城県南部の深さ65kmでM5.1の地震（図7中のs）が発生し、茨城県及び栃木県で震度4を観測したほか、東北地方南部から関東甲信越地方及び静岡県にかけて震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

12月3日02時17分に山梨県東部・富士五湖の深さ21kmでM4.1の地震（図7中のt）が発生し、山梨県大月市で震度4を観測したほか、関東甲信地方及び静岡県で震度3～1を観測した。同日06時37分にもほぼ同じ震央の深さ19kmでM4.8の地震（図7中のu）が発生し、山梨県大月市で震度5弱を観測したほか、中部地方から関東地方及び伊豆諸島にかけて震度4～1を観測した。

12月3日09時28分に紀伊水道の深さ18kmでM5.4の地震（図7中のv）が発生し、和歌山県御坊市で震度5弱を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度4～1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。この地震により、軽傷5人、住家一部破損2棟などの被害が生じた（2021年12月13日現在、総務省消防庁による）。

12月12日12時30分に茨城県南部の深さ50kmでM5.0の地震（図7中のw）が発生し、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県で震度4を観測したほか、東北地方南部から中部地方及び伊豆諸島にかけて震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。